

琉球大学学術リポジトリ

恩賜財団奨學會『日の光』第九號

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2018-04-16 キーワード (Ja): 矢内原忠雄, 南洋, 恩賜財団奨学会, 日の光 キーワード (En): Yanaihara Tadao 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/38156

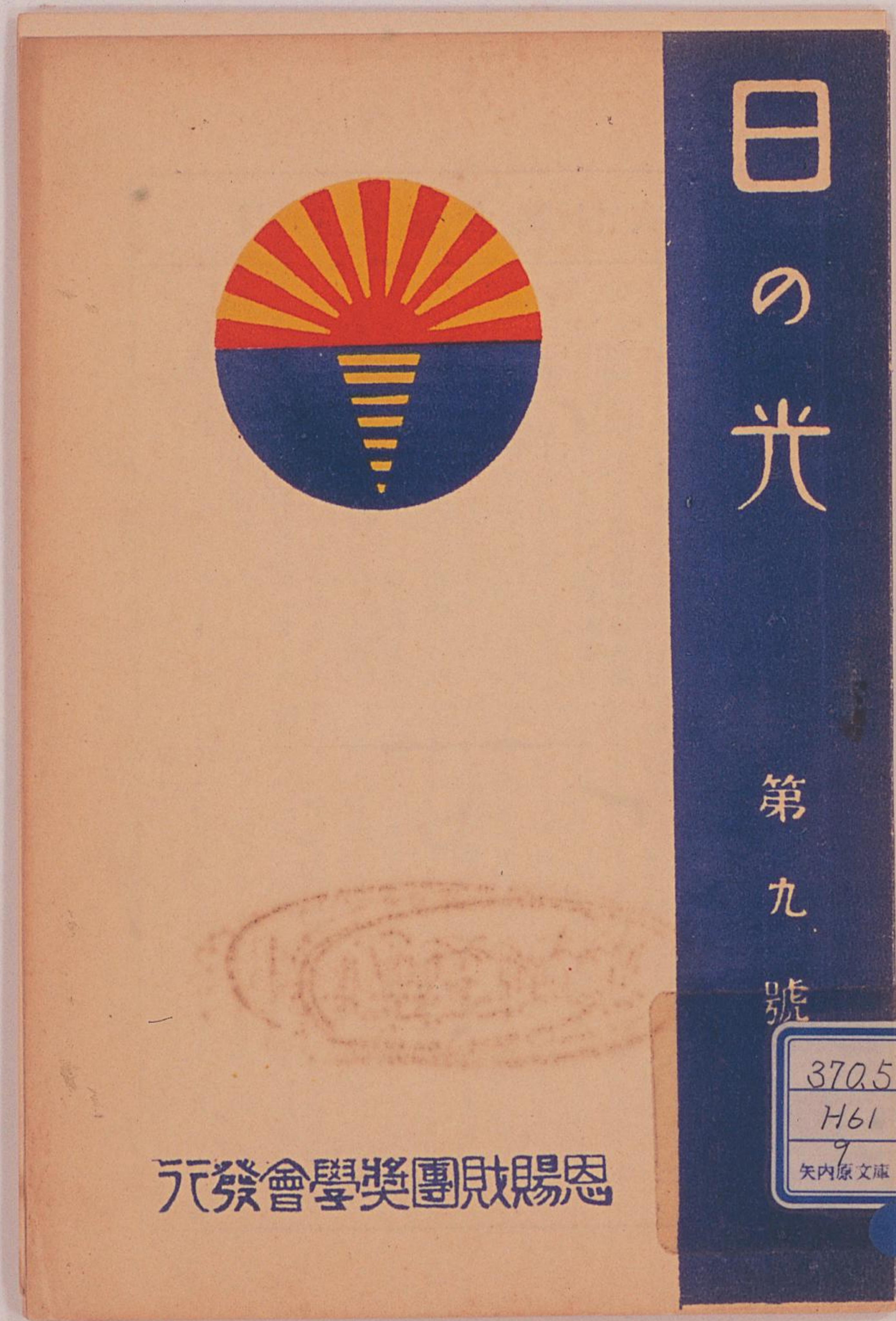
矢内原忠雄文庫

史料名	恩賜財団奨學會『日の光』第九號 昭和六年三月十五日發行
封筒番号	279
原文所所蔵者	琉球大学附属図書館
撮影年月日	平成17年11月16日
撮影者	富士写真フイルム 株式会社
備考	

矢内原忠雄文庫

封筒番号：279

史料名	恩賜財団奨學會『日の光』第九號 昭和六年三月十五日發行
資料形態	四六版冊子
枚数	22
頁数	44
縦 (cm)	
横 (cm)	
厚さ (cm)	
書誌的事項	南洋 今泉分類記号：P



1/10

370.5
H61
7

日 光 第 九 號 目 次

一、世界の旅(三)……………サ ト ウ 一	一、サイパン島ノコト…アントニオ、五 アルダン
一、人體の組立(三)……………ゴ ト ウ 四	一、コトリトネズミ……………ペードロ、三 メンデオラ
一、植物ノ生活(ツツキ)……………スガワラ 二〇	
一、作物と肥料……………スガワラ 三	
一、病氣ト衛生……………ト ツ カ 六	
一、金髪美人……………ヤツブ公學校 課外讀本補一用 九	
一、寓話、若者ト「カムゾ」……………イツサキ 三	

(終)

●世界の旅(三)

ヨーロッパ公學校 サ ト ウ

この前わヨーロッパまでをすませましたが、今度わアフリカからアジアの南の方に進み、オーストラリアに入りたいと思います。ヨーロッパの南には地中海(チチュウカイ)と云ふ内海(ウチウミ)がありますが、この海の南がわたる大陸がアフリカです。大山脈(コウゲン)をなして、海岸近くまで高原(コウゲン)をなして、海上の風が中部(チュウブ)をふきこまないで雨が少い。大陸の北部(キョウブ)地方(トウチ)は全く雨が降(フ)らないので、そこに世界(セカイ)第一(ダイイチ)のサハラの大沙漠(サハラ)ができています。東西(トウシ)五千二百(イソヒヤクニヒャク)千(セン)キロメートル(キロメートル)、南北(ナンボク)一千五百(イツヒヤクニヒャク)百(ヒャク)キロメートル(キロメートル)もある大きなもので、氣候(キョウキ)も非常(ヒョウジョウ)に暑い(アツイ)ところです。ここを旅行(リョウギョウ)するに駱駝(ラクダ)を

に乗(ノ)るのです。

アフリカ大陸(アフリカダイリク)の東北部(トウキョウブ)には、ナイル川(ナイルカハ)が流れて(なが)います。この川(カハ)は昔(ムカシ)から時々(トキトキ)大水(オホミヅ)が出て、そのた(た)びごと(ごと)に川上(カハノカミ)の肥(ヒ)え(こ)え(え)た土(ツチ)を流(なが)してきて、それが川下(カハノシタ)に積重(ツミカサナ)り(り)ました。ここにできたのが、エジプト(エジプト)の國(クニ)です。土地(チ)がよく肥(ヒ)えて(え)るので、色々(いろいろ)の作物(サクモツ)が(が)出(い)て、産業(サンギョウ)が(が)進(すす)み、早(はや)くから文明(ブメイ)な國(クニ)になりました。ナイル川(ナイルカハ)に沿(したが)って(ついで)首府(シユフ)市(シ)で、附近(キョウキョウ)にピラミッド(ピラミッド)の石(イシ)で造(つく)った三角(さんかく)のとう(とう)で中(ちゆう)に王(オウ)様の墓(ハカ)がある(あ)る)、スフィンクス(スフィンクス)の石(イシ)に人(ひと)やけもの(けもの)の(の)すがた(すがた)をほり(ほ)りつけたもの(もの)等(ら)が(が)あ(あ)ります。これら(これら)は皆(みな)エジプト(エジプト)の昔(ムカシ)の文明(ブメイ)を示(し)して(して)います。この國(クニ)は昔(ムカシ)から、このよう(このよう)に榮(さか)す(さ)か(さ)か)えて(え)たのであり(あり)ますが、其(その)後(のち)國(クニ)人(ひと)が(が)なま(な)ま)け(け)ましたので、勢(いきほ)が

おとろえしました。
エジプトの東北部アフリカ大陸とアジア大陸
とつらなる所わ、紅海(コウカイ)と地中海
が兩方(リヨウホウ)から入りこんでいて、
地峽(チキョウ)になつていますが、ここを
さり開いて運河(ウンガ)を通じています。
これが名高いスエズ運河で、長さが百六十軒
各國の船が盛に通ります。アジア、ヨーロッパ
間の海上交通の要點(ヨウテン)になつて
います。

アフリカ大陸の南の方わ南阿聯邦(ナンアレ
ンボウ)と云つて、金、金剛石(コンゴウセ
キ)羊毛(ヨウモウ)麥等の産が多く、今で
わアフリカ第一の進んだ所となつています。
アフリカ大陸から、スエズ地峽を通つて東北
に進むと、アジア洲に入りますが、そこはよ
い馬の出るので名高いアラビヤです。
それからベルシヤの國を過ぎて、東へ向うと

二
インドの國に入ります。インドわイギリスの
領地(リヨウチ)で三角の形(カタチ)をし
た國です。北の方にわヒマラヤ大山脈があり
、其中に世界第一の高山エレベスト山があり
ます。高さが八千八百四十米、年中白い雪(ユ
キ)がかかり、氷の川が流れています。
ヒマラヤ山脈からわ、ガンジス川や、インダ
ス川が南へ流れて印度(インド)洋にはい
ります。これ等の川の流れている地方わ、よく
肥えた大平野が出来ていて、米や棉(ワタ)
が多くとれます。インドわ産業が進んでいる
上に、人口が三億もありますので、鐵道が多
く通じています。
東のカルカッタ、西のボンベイわ、共に良港
で商工業の盛な市です。インドの東のビルマ
でわ米や木材が多くとれ、ラングーンの港か
ら多くこれを積出します。ビルマから東へ進
むとシヤムの國に入ります。

この國わ獨立(ドクリツ)國で、首府をバン
コクと云います。この國も米や、木材が多くと
れます。

シヤムの東にわ、フランス領地である印度支
那があります。米の産地でサイゴンの港わ其
の積出で名高い所です。

シヤムの南の方には馬來(マライ)半島が突
出(ツキデ)ています。ここわイギリスの領
地です。半島の南の先(サキ)にシンガポー
ルの良港があります。港の設備(セツビ)が
よいのでアジア、ヨーロッパ、オーストラリ
ヤの各地え船が盛に往來して、ゴム、コブラ
、錫(スズ)等を多く輸出しています。

馬來半島の東南海上にわ、大小多數の島々が
ありますが、これをまとめて馬來群島と云い
ます。我々が表南洋(オモテナンヨウ)と云
つているのわこのことです。主(オモ)な島
わ、スマトラ、ジャバ、ボルネオ、セレベス

、フィリッピン等です。又これ等の島々の東
方には、ニューギニア島があります。これわ
馬來群島の中ではありませんが、表南洋の中
には入れています。これ等の島わ皆我南洋群
島に比(クラ)べると、よほど大きなものば
かりです。これ等の島々はオランダ、アメリ
カ、イギリス等の領地で、産物の主なものわ
、さとうきび、麻(アサ)ヤシ、ゴム、香料
(コウリョウ)等です。

ジャババわ、火山の多い島で、人口も多く、
産業も進み群島中で一番開けています。パタ
ビヤ、スラバヤ等わ盛な市です。

セレベスのメナードと、フィリッピンのミン
タナオ島のダバオとにわ、南洋航路西廻線の
船が通つています。又フィリッピンにわマニ
ラの良港があります。

馬來群島から南へ進むと、オーストラリヤ大
陸につきます。この大陸わ大體高原狀で中部

、西部わ雨が少く沙漠や草原（ソウゲン）になつています。
東南部にわ肥えた平野があつて、小麦、羊毛等が多くとれます。又西南部地方からわ金もとれます。

シドニー、メルボルンと共に良港で羊毛の輸出が盛です。

オーストラリア大陸わ全部イギリスの領地です

（終リ）

まにあわないというような場合（バイ）だけで其の他わ、すべて鼻からいきをするものです。それで口わ呼吸器のうちでわありませ

ん。
さて以上の呼吸器によつて私共わ、どんな風（フウ）に呼吸するかと申しますと、鼻から吸（ス）いこんだいきわ、ずいぶん、まがりくねつた腔（アナ）を通つて咽喉に行きます。此の間を空氣が通るうちに、ほこりわ鼻の中であちこちくつき又、冷（ツメ）たい空氣わ、暖（アタタカ）くなります。咽喉にわ、皆さんが、つばをのみこむ時ヨクリと上に動く骨があるでせう。その骨のすぐ下に氣管があつて、咽喉から來た空氣わ、此の中にはいつて行きます。氣管わまっすぐにくびを下つて胸にはいつて來ます。胸にはいと、二本の氣管支（キカンシ）に分（ワカ）れ一本わ右の肺（ハイ）に一本わ左の肺にはいつて

●人體の組立（三）

三、呼吸器（コキユウキ）

此の前わ骨ぐみと循環器について御話をいたしましたが、今度わ呼吸器について御話をいたませう

皆さんわ、いきをするとなら知らないで眠つてゐる時も、起きてゐる時もたえずいきをしています。此のいきをするに必要な器官全部（ゼンブ）を呼吸器といふのです。それならばどんなものが呼吸器であるかといふと、それわ鼻（ハナ）咽喉（ノド）氣管（キカン）肺臟（ハイゾウ）であります。

人わ口からも時々（トキドキ）いきをします。それがわ、風邪（カゼ）をひいて鼻がつまつて、いきがでないとか、又わリレーをやつた後（アト）で鼻からいきをするだけわ、

行きます。氣管支わ肺にはいつて行くと、だんだん細い管（クダ）に分れ、しまいにわ顕微鏡（ケンビキョウ）でなければ見られないほどの細い管になつてしまします。此の行きづまりが少しふくれています。これを氣胞（キホウ）といひます。氣胞わごくうすい膜（マク）でその外（ソト）には細い肺の血管（ケツカン）が來ています。これ等のものを助膜（ロクマク）といふ膜で包（ツツ）んだものが肺臟です。それで氣管にはいつて行つた空氣は肺臟の氣胞までくることになるのです。そしてこゝまでくると、また元のみちを通つて外にはき出されます。これが即（スナハ）ち呼吸で私共は之を生れるとから死ぬまで、くりかへしてゐるのですが、それわ何のためにするのでせう。

私共の身体わ絶えず酸素（サンソ）をつかつて色々な仕事（シゴト）をしてこれを炭酸（

タンサン)ガスにしてしまいます。それで酸
素わ私共の身体が色々な仕事をするに、必ず
なければならぬ大切なものであります。反対
(ハンタイ)に炭酸ガスわ人にわ大變(タイ
ヘン)毒になるものです。皆さんわ大勢(オ
オセイ)人の集つてゐる所で氣持(キモチ)
が悪くなつて倒(タオ)れる人を見るでせう。
之わ私共のはき出す、いきの中にはたくさん
の炭酸ガスがあるから、その毒にあたつたの
です。その様な毒になるものがたえず出来る
のに、其のま、しておいたなら、私共のから
だわ大變ですから、早く此の炭酸ガスを身体
の外に出して身体に必要な酸素を運(ハコ)
ばなければなりません。この酸素や炭酸ガス
を運ぶ役目(ヤクメ)をするのが循環器の所
で一寸(チヨット)申しました赤血球であり
ます。赤血球の中にわヘモグロビンと云ふも
のがあつて、身体中をめぐらうちに方々に出

六
來た炭酸ガスにくつついて心臓の右の心房(シ
ンボウ)にかえつて來ます。そして右の心
室から肺臓に送られるのです。ヘモグロビン
が炭酸ガスにくつつくと、ドス黒い血になり
ます。循環器の所で右の心室から出る血わド
ス黒いと申しましたが、それわこれがため
です。

肺臓に送られた血わ氣胞の外側(ソトガワ)
まで來ます。そうするとヘモグロビンわ、自
分がくつついて居た炭酸ガスを氣胞の中に出
して、今度わ氣胞の中にある空氣から酸素を
取つて之とくつついてしまいます。そして酸
素をうしなつて炭酸ガスを含(フク)んだ氣
胞内の空氣わ氣管支咽喉を通つて、鼻の腔か
らはき出されます。私共のはき出すいきに炭
酸ガスが多いのはこれがためです。
ヘモグロビンが酸素と、くつつくと美しい紅
色(ベニイロ)の血になつて左の心房に歸つて

來て左の心室から送り出され全身(ゼンシン)
(に酸素をはなつて色々な仕事をさせます。
私共のからだわ絶えず、此の仕事をくりかえ
して居るのですから、たえず呼吸をせなけれ
ばならないのです。反對に呼吸を止めたなら
ば此の仕事が出來なくなつて、遂にわ死んで
しまいます。あの首をくくつた人や水におぼ
れた人わ、よいこの例(レイ)であります。
いきをする數わ年齢(ネンレイ)に依つてち
がいます。赤ん坊わ一分間に二十五六回もし
ますが、皆さんの呼吸わ一分間に十八回位で
あります。然し人が運動する時わ身体に常(ツ
ツネ)よりも餘分(ヨブン)に炭酸ガスが出
來るので其の炭酸ガスを早く肺から追(オ)
い出さなければならぬから、呼吸の數わ多
くなります。皆さんがリレーをした後でハ
ーと、いきをはづませるのわこれがため
です。以上呼吸器の構造(コウゾウ)と作用(

ハタラクキ)を大體のべましたがこれで呼吸器
の大切なことが分つたでせう。然し此の大切
な呼吸器わ大變病氣に、かゝりやすいもので
す。

皆さんわよく風邪をひくでせう。風邪といふ
のわ呼吸器の入口(イリグチ)に近い部分が
病氣になるので、鼻ならば鼻風邪(ハナカゼ)
(といつて鼻水(ハナミヅ)がズルズルと出
ます。鼻からも少し奥の咽喉が病氣になると
咽喉がいたくて咳(セキ)が出ます。なお、
病氣が奥にはいりますと、氣管支カタルとな
つて咳も多く出ますし、また熱も出て來ます
。其の上にもまた病氣が奥にはいる時には、肺
炎(ハイエン)となつて大分(ダイブン)危
險(キケン)な病氣になつて來ます。風邪わ
それがもとで色々な病氣になりますから、氣
をつけなければなりません。風をひかない様
にするにわ、冷い空氣を、すいこまない事と

寒い時にうすぎをせない事です。南洋の人わ裸（ハダカ）でよく家の外にぬたり又わ、窓をあけはなしてねたりしますが、夜と晝との空氣の温度（オンド）は非常にちがいますから、これわ呼吸器のために大變いけないと思ひます。

次に呼吸器病のうちで一番（イチバン）恐（オソ）ろしい肺結核（ハイケツカク）のお話をしませう。私共がたえず呼吸している、空氣の中にわたくさんな、ほこりのあるのを知つていてせう。そのほこりの中にわ、目にわ見えなけれども、いろいろなバイキンがうようよしています。そしてその中にわ恐ろしい肺結核のバイキンも、たくさんいるのです。その空氣を私達わたえず呼吸しているのですが、實に恐ろしい事でありませんか。然し百人が百人、なぜ肺病にか、らないのでせう。それわたとえ肺結核のバイキンが、ま

じつている空氣を吸いこんだとしても、鼻毛（ハナゲ）や、鼻の中で俵（ホコリ）と一しよに大部分わ、おちついて、それわ鼻をかむ時などに出てしまいます。もう少し奥の方にわ入つたバイキンわ咽喉や氣管や、太い氣管支におちついてたんにまじつて、外にはき出されてしまいます。私共の氣管や太い氣管支にわ極く小さい毛がはえていて、其の毛の上に色々なものがくつくと、それを口の方に送る様にたえず運動しています。其の毛の運動のために中々ではいつた結核のバイキンも、口の方にはこぼれ、たとまじつて出てしまふのです。何と神様（カミサマ）わ私達の中からだを都合（ツゴウ）よく拵（コシラ）えて下さつたものでわありませんか。けれども時にわ肺の奥までバイキンがはいつて來る事があります。其の時に折悪（オリアシ）く其の人が風邪などをひいていますと、結核のバ

イキンわ其の場所（バシヨ）でどんどんふえて、いたづらをする事もありますが、大抵（ダイテイ）の時わ其の場所をいたづらをせずにとつと肺を通つて淋尿管（リンパカン）といふ血管（ケツカン）に似ていて体のすき間にある管の中にはいつて、其の中を流れて兩方の肺と肺との間にある肺門線（ハイモンセン）といふ淋尿管（リンパセン）まで運ばれて來ます。淋尿管と云ふものわ恰度（チョウド）門番小屋（モンバンゴヤ）の様なもので人のからだに害をする様なものわ、皆此の門番小屋で食いとめて居るのです。そしてその門番循環器のところを御話をした、白血球であります。そこで結核のバイキンが、此の肺門腺まで來ますと門番の白血球わ、何萬となく飛び出してバイキンを圍んで攻めつけ、大抵の弱（ヨワ）いバイキンをここで殺（コロ）されてしまひますが、元氣のい、バイキン

わ何年でも其の門番小屋の中で生きています。そして其の人が生れつき弱かつたり、又わ丈夫な人でも風邪などひいて体に油斷（エダシ）が出来ると其の油斷を見すかして結核菌（ケツカクキン）わ進軍（シンゲン）をはじめ、或わ肺の一番上にある肺尖（ハイセン）にとりついて肺尖カタルを起したり、或わ助膜にとりついて助膜炎（ロクマクエン）を起したり、又わ腹膜に行けば腹膜炎（フクマクエン）を起して私共の大切な器官をさんざん打ちこわしてしまふのです。大切な器官をぶちこわされたならば、前云つた様な大切な仕事が出来ないから其の人の体わだんだん衰えます。結核わ一時に、はげしく來るのわまれで、大抵わ自然々々に來る病氣ですから、ほんとに油斷がなりません。皆さんわ公學校を卒業する頃までわ、大變丈

夫な子供であつても、十七八歳から二十二三歳頃の間に助膜炎になつたり、肺結核になつたりする人をよく見るでせう。こういう人達、其の年になつて結核菌を吸つたのでなく、ズット子供の時に吸つていたので、人わ此の世に生れて一人も結核菌を吸いこまない人わないので。然し体さへ丈夫であれば、たとい結核菌を吸つても決して結核になりません。結核菌を吸わぬ心配するよりも吸つてもすぐ征伐(セイバツ)してしまふ様な丈夫な体を拵えておく事が必要です。

(をわり)

●植物ノ生活 (ツツキ)

コロール公學校 スガツラ

私ワサキニ(第七號)植物(シヨクブツ)ノ生活(セイカツ)トシテ、炭素同化作用(タンソドウカサヨウ)ト蒸散作用(ジョウサンサヨウ)トニツイテハナシマシタガ、今一ツ大事(ダイジ)ナコトガノコツテイマスカラ、ソレニツイテ今度(コンド)ワ、オ話しタシマシヨウ。

人ヤ牛、豚、犬ノ外(ホカ)動物(ドウブツ)ワミナ空氣中(クウキチュウ)カラ酸素(サンソ)ヲスイトツテ、炭酸瓦斯(タンサンガス)ヲハキ出シテイルコトワ皆サンモヨク知ツテオルコトデスガ、植物モマタ同(オナ)ジョウニ空氣中カラ酸素ヲスイトツテ炭酸ガスヲハキ出シテイマス。ダカラ此ノハタラキヤ動物ノトキト同ジョウニ呼吸作用(コキユウサヨウ)トイイマス。

同化作用ヲ葉綠素(ヨウリョクソ)ト日光(ニツコウ)トガナケレバ出来(デキ)マセンガ、呼吸作用ヲコレトチガツテ、明(アカ)ルイトコロデモ暗(クラ)イトコロデモ、又葉綠素ガナクテモ出来マス。ソレデスカラ同化作用ヲ晝間(ヒルマ)ダケシカ行(オコナ)ワレマセンガ、呼吸作用ヲ晝デモ夜(ヨル)デモ行ワレマス。シカシナガラ呼吸作用ニヨツテハキ出ス炭酸ガスト、同化作用ニヨツテハキ出ス酸素ノ量(リョウ)トヲ比(クラ)ベテ見ルト酸素ノ方ガズツト多(オウ)イノデス。ソレデ植物ヲ呼吸、同化ノ二ツノ作用ヲ行ツテイマスガ、サシヒキスルト酸素ヲヨブンニ、ハキ出シ空氣中ノ酸素ヲ増(マス)コトニナリマス。コレヲ呼吸作用ダケ行ウ人間(ニンゲン)ハジメソノ他ノ動物ニトツテワ、タイ(ヘン)有難(アリガタ)イコトトイワネバナリマセン。木ノタクサン茂(シゲ)ツ

テイル森林(シンリン)ノ中ワ、空氣ガキレイデ人間ノ体(カラダ)ノタメニヨイトユウノワ、ツマリコンナトコロデワ空氣中ノ酸素ガタクサンダカラデス。コンナコトカラ考(カ)ンガエ)テ家ノマワリナドニ色々(イロイロ)ナ植物ヲウエテキレイニスルコトワ眺(ナ)ガ)メガヨクテ目ヲタノシマセルバカリデナク体ノタメニモナルワケデス。

植物ガスイトツテ酸素ヲ、体ノ中ニ熱(ネツ)ヲ起(オコ)シ、又体ノ中ノイロイロナ作用(ハタラク)ノモトニナル力ヲアタエル大切(タイセツ)ナモノデス。

ソレデスカラ若(モ)シ植物ガ酸素ヲ永(ナ)ガ)クスイトルコトガ出来ナカツタナラバ、植物ノ体ノ中ノ色々ナハタラクガ、出来ナクナツテ、シマイニワ枯(カ)レテシマイマス。コレヲタトエテ見マスト、人間ガ食物(シヨクモツ)ト酸素ニヨツテ生活シテイルヨウニ

植物の肥料(コヤシ)ト酸素トヲスイトツテ生活シテイルノデアルガ、コレヲチヨウド汽船(キセン)汽車(キシヤ)ナドノ蒸氣機關(ジヨウキキカン)ガ石炭(セキタン)ト酸素(空氣トツマリ酸素ガナケレバ石炭ワモエマセン)トニヨツテ、熱ヲ發(ハツ)シテ活動(カッドウ)スルノト同ジヨウナワケデス。

ソレデスカラ根、莖(クキ)、葉、ドコノ部分(ブブン)ニ於(オイ)テモ、生キテイルトコロデワ、タエズ呼吸作用ヲシテイマス。トリワケ若(ワカ)イ芽(メ)、ズンズン伸(ノビ)テイル枝(エダ)ノサキ、花(ハナ)ノ咲(サ)キハジメナドノヨウナ生理作用(セイリサヨウ)ノ元氣(ゲンキ)ノヨイトコロホド、呼吸ガ盛(サカン)デス。私チチガ、力(チカラ)ハタラ(ハタラ)イタトキヤ、ウント走(ハシ)ツタトキナドニ大キク、フカク、ソシ

テハヤク呼吸スルノワ、コレト同ジワケデス。ソレデワ根ノヨウナ、土ノ中ニ入(ハイ)ツテイルトコロデワ、ドウシテ呼吸ヲスルカトユウト、コレヲ土ノ中ニアル空氣ノ中カラ、酸素ヲトツテイルノデス。私ドモガ田畑(タハタ)ヲヨク耕(タガヤ)シテカラ、種子(タネ)ヲマイタリ、苗(ナエ)ヲ植(ウ)エタリシテ、ソノ後(ノチ)モマダ中耕(ナカウチ)ナドトユウコトヲヤルノワ、作物ノ根ニ空氣ヲ通(カヨ)ワセテ、ソノ呼吸作用ヲ都合(ツゴウ)ヨクサセテヤルタメデス。作物ヲツクルニ、ジメジメシタトコロヤ、ネバネバシタ重(オモ)イ土ガヨクナイトユウノワ、ツマリ空氣ガヨク通(トウ)ラヌタメ植物ノ根ガ十分ニ呼吸作用ガ出來ナイトユウコトガ主(オモ)ナ原因(ゲンイン)トナルノデアリマス。

(オワリ)

●作物と肥料

コロール公學校 スガワラ

私ども人間(ニンゲン)が生(イ)きていく上にわ色々(イロイロ)なものが必要(イ)りますが、その中で食物(シヨクモツ)と空氣(クウキ)がなくてはなりません。これと同じように、作物(サクモツ)が生育(メイイク)していくに、肥料(ヒリヨウ)日ヤコシ)と空氣とがなくてはなりません。その中(ウチ)空氣ヲ自由(ジユウ)にとることが出來(デキ)ますし、肥料も土の中(ウチ)にかなりたくさん、ふくまれています。けれどもこの肥料が作物がすぐに、すいとつて自分(ジブン)の体(カラダ)の養分(ヨウブン)になること(この出來るかたち)これを可給態養分(コキョウタイヨウブン)といいますが、すぐ(すぐに)に吸(ス)いとる事が出來ないかたち(これを不可給態養分(イコキョウタイヨウブン)といいますが)であるものとがあります。

す。ところで土壤(ドジョウ)日ツチ)の中にふくまれている養分の大部分(オウカタ)は、この不可給態(フカキユウタイ)の養分(ヨウブン)で、ばかりです。然(シカ)し此(こ)の不可給態(イコキョウタイ)のものも雨、風、温熱(オンネツ)などのほたらき即(スナワ)ち風化作用(フウカサヨウ)によつて、だんだんと少しづつ可給態(コキョウタイ)に變(カワ)るのであります。昔(ムカシ)のよう(土地(トチ)が廣(ヒロ)くて棲(ス)む人が少(スカ)な)かつた時代(ジダイ)に、毎年(マイネン)も五年も休(ヤス)ませておいて、順次(ジュンジ)日(ジ)ン(バン)につかうことが出來たから、此の間(アイダ)に風化作用(フウカサヨウ)を受(ウ)けて、不可給態養分(イコキョウタイヨウブン)が可給態養分(コキョウタイヨウブン)に變(カワ)つて、やせた土地(コヤシケ)のたいへん少(スカ)いじめん)も肥沃(ヒョク)の土地(コ

えた土のことで前と全く、ほんたいに、こやしをたくさんもつたじめんのことです)になつたから、べつだん、わざわざ肥料をやらなくても十分な収穫(シユウカク)日トイレ)が得(エ)られたのですが、今でわ年々人口(ジンコウ)が、ふえていくのになつて、耕地(コウチ)日たがやして作物をつくる土地つまり田畑のこと)がその割合(ワリアイ)にふえていきませんから、せまい耕地をもつて澤山(タクサン)の人を養(ヤシナ)わねばならんことになつたのです。それで一つの土地を二年も三年遊(アン)ばせておくなどとゆうことは、日本の内地(ナイチ)などでも(よその國)でも同じことですが)とうてい出来ない事です。いやそれどころでありません、同一(ドウイツ)日ヒトツ)の土地を年々三回(サンカイ)も四回もつかつて、澤山の収穫を上げねばならんことになつたので

す。南洋では、まだこれほどでわありませんが、しかしだんだんそうなつてくるのです。初(ハジ)め一年二年わ、べつに肥料をやらなくても、けつこう収穫があるけれども、「坐(ア)して食(クラ)ば山をも空(ムナ)し。」(山のようになくさん食物をもつていても、はたらかずに食べてばかりおれば、しまいにわ、なくなつてしまふことです)で、どれほど肥(コ)えた土地でも、毎年毎年作物をつくつて収穫するばかりで、肥料を少しも、やらなかつたならば、遂(ツイ)日オンマイ)には、養分がなくなつて土地がやせ、作物が出来なくなつてしまふから、私どもは収穫するたびごとに、土壤に相當(ソウトウ)の肥料を施(ホドコ)して土地がやせるのを防(フセ)ぎ、永(ナガ)く作物を栽培(サイバイ)日ツクル)することが出来るように地力(チリヨク)の維持(イジ)をはか

らねば、ならんようになつて来たのであります。作物わ、さきに第八號の農業(ノウギョウ)の起源(キゲン)のところで、のべましたように私どもの先祖(センゾ)が、工夫改良(クフカウリョウ)日いろいろかんがえてよくする)して野生(ヤセイ)の植物から變化(ヘンカ)させて出来たところの一種特別(イツシユトクベツ)な植物であります。大根(ダイコン)や蕪菁(カブラ)などの根や、苜蓿(ツケナルイ)日はいくさいや、たいさいなど)甘藍(カンラン)日キヤベージ)などの葉を見たときに一ばんよくわかるように、人間がその必要(ヒツヨウ)なところを特別(トクベツ)よく發育(ハツイク)させたもので、自然(シゼン)から見たならば全(マツタ)く、かたわものです。それですから健全(ケンゼン)な野生の植物に比(クラ)べたならば、その体質(タイシツ)が大變(タイ

ヘン)弱(ヨワ)いのが普通(フツウ)です。だから作物を栽培するにわ。作物に一ばん適當(テキトウ)日チヨウドヨイ)した保護(ホゴ)をしてやることを怠(オコタ)つてわなりません。此の作物の保護にわ色々あつて、中耕(チュウコウ)をしたたり、除草(ジョウソウ)日クサトリ)や病虫害(ビョウチュウガ)の防除(ボウジヨ)日ヨボウクジヨ)などをやることも大切(タイセツ)な事です。一ばん必要なことわ、さきにのべました肥料を施(セ)すことです。若(モ)し肥料を施(セ)さなかつたり、又わ肥料のやり方が、まづかつたりしたならば、作物わ思(オモウ)ように十分に發育(ハツイク)日フル)しなかつたり、全く駄目(ダメ)になつたりします。それですからよく作物を収穫しようと思ふならば、肥料を適當(アタ)に與(アタ)えることが最(モト)も肝腎(カンジン)日ダイジ)なことであ

り出す。

(終り)

●病氣と衛生

パラオ醫院 ト ッ カ

南洋の人々は病氣について、次のやうにかんがえている。人が病氣になるのは、わるい神様(パラオではエリツツ、ヤツプではカン)が居つて其はたらきで病氣が起る、例へばキチガヒになるのはカンが人間の頭にはいるためであり、ゾウヒビヨウといふ、足のはれる病はマーダイ(ヤツプ)といふ海の神様の力であり、セキリは、ミツシリツビ(ヤツプ)といふ神様のために起ると、こう考へて居る。ミツシリツビとはヤツプ語で流行病(ハヤリ病)のことであるが、又神様の名前でもあり

十六

悪魔(わるい神様)の名前でもある。南洋の人々は病はうつるものと思つては居らない。それ故死人のからだを、あらつた水をのんだり、杖(ツエ)を洗つた水をのんだりして病氣を治さうとする。神様のために起る病であるから、これを治すには、やはり神様の力によつて治すより外に方法はないと思つて居るらしい、しかし今日の若い人達、殊に公學校を卒業した教育のある人々は知恵が進んで來ているから、病氣になればすぐに御醫者さん(ドクトル)をたづねてみてもらう、そしてかういふ人達は多くの病氣はうつるものだと信じてゐる、フランベシヤでもデングネツでも、ハンカでも他人にうつる、フランベシヤは糸のやうな虫目これを「バイキン」といふが、ちいさなきづから入つて、身体にいろいろなふきでものができる。人のおそれるハイビヨウはかぜをひいて、からだがかよつた時

に、外から病人のからだについていた「ばいきん」が入り込んで來て病氣になる。ハンカもそうである。一人の病人の身体からは、數へられぬほど、たくさんの「ばいきん」がまきちらされる。其故一人病氣の人が出ればあとからあとから、たくさんの人が同じ病氣にかゝる。これは神様のするわざではなくて「ばいきん」のはたらきによるものである。病氣にかからぬやうにするには、先づ自分の身体を丈夫にする。そして病氣の人のたべたものやきたきものに、さわらぬやうにすることが大切である。死人をあらつた水をのんだり、杖をあらつた水をのんだりすることはいぢばんあぶないことである。便所のない野原に大便をする、はだして歩く、するさ足から蟲が入つて十二指腸蟲病が起る。それゆゑその病氣にかゝらぬやうにするには、一ヶ所に穴をほつて大便をするようにしなくてはならぬ

。たべものをしたくするときに、小刀を足のうらでこすつてきれいにしやうとする人々もあるが、これはきれいにするのではなくて、わざわざきたなくするやうなものである。戦の上手な人は敵のせめて來ないやうに、ふだん注意をしておくが、病氣の時でも自分のからだを丈夫にしておいて、病氣にかゝらぬやうに用意しておくのが、いちばんりやうな人のやり方である。日本のことわざに「こらばぬさきの杖」といふことがある、これが衛生「エイセイ」である。衛生と云ふ言葉にあてはまるか、またそれに近い言葉が南洋にあるが、ポリネシアの「タブ」といふ言葉、ヤツプの「タバル」パラオの「ムグツル」といふ語がいちばんよくあてはまるやうである。この言葉は文明のひらけぬ南洋の人々の衛生といふ考を、もつともよくいひあらはしているように思はれる。

十七

母の名前を云はないことや、妹のうつわの食物をたべれば病氣になるといふことや、死んだ人のかたみ分け(ヤツブのリュウ、バラオのマデレカット)は一年たたなくては分けてはならぬといふことや、月經ハウスには月經になつた女の人の外だれも、入つてはならぬといふならば、病人や子供を生んだあとの女が家のそばに小さな家をたて、すんでおるといふことは、今日私共のいふ衛生といふ行によくあてはまる。

衛生の上から、きたないとかきれいとか、いふことは前に記したように、病氣を起す「ばいさん」が居るかいなにかといふ意味であつて、見た所がわるいとかい、とかいふ意味ではない。新しいてぬぐひや、きものでも肺病の人のつかつたものはきたない、古いものでもよくせんたくしたものは、衛生上からきたないとはいはれない。こういう意味で

たないもの「ばいさん」のたぐさんついでいふもの、そういふものは手をつけず、口に入らず、からだにつけないのが衛生である。このわけがよくわかつて居らないと、おそれなくともよいものをあそれたり、ほんとうにおそれなくてはならぬものをおそれずに、平気で居るやうになる。病氣をなほすのは御醫者さん(ドクトル)のしごとであるが、衛生に注意するのは、だれでもしなければならぬ大切なしごとである。

をわり。

●金髪美人(キンバツビジン)

ヤツブ公學校 課外讀本補一用

(一) 王女

昔全世界ニ二人トナイホド美シイ王女ガアリマシタ。美シイ中ニモカラダノマワリニ黄金(コガネ)ノマントノ様ニタレサガツテイ、ツヤツヤシタ髪ノ毛ガトリワケ美シカツタノデ、人々ハミナコノ王女ヲ金髪美人ト申シマシタ。ソノ頃隣ノ國ノ王様ヲ年若ク金持デ、朝日ノ上ル様ナ勢デシタ。マダ金髪美人ヲゴランニナツタコトワアリマセンデシタケレドモ、大ソウキレイナ人デアルトイフ話ハ、ヨクオキキニナツテイマシタ。ソレデ王様ヲ皇后(コウゴウ)トオキサキノコト)ニナツテクレル様ニ、金髪美人ニオ申シコミニナリマシタ。若シ金髪美人ガコレヲキイテクレタラ、コノ世ノ中デコレニマスヨロコビワナイ

デアラウト、王様ハ心カラオツシヤイマシタ。ソコデ王様ヲ或大官(タイカン)ヲ使者ニオエラビニナリマシタ。

百匹アマリノ馬トタクサンナ家來(ケライ)

ト大變キレイナ馬車トヲ用意サレ、珍ラシイ品々ノ進物(シンモツ)ヲ持ツテ使者ヲ金髪

美人ノ國エト出發シマシタ。

王様ワカエリニワ、キツト王女ヲツレテ來ル

様ニト、カタクオイトツケニナリマシタ。

使者ヲマモナクツイテ、王様ノタツテノオ望

ミヲ王女ニ申シ上ゲマシタ。スルト王女ヲ

王様ノオ心ノホドワ身ニアマル名譽(メイヨ

)デ、オ禮ノコトバモナイノデアリマスガ、

今ノトコロドウシテモ、急ニオコトバニシタ

ガウツケニワ參リマセン」ト御返事ヲ申シ上

ゲマシタ。

オイトツケヲハタス事ガ出來ナイノヲ、使者

ハタイソウウ口惜シク思ツタケレドモ致方ガナ

イノデ、王様ノ進物ヲソノママ持ツテ歸ツテ
來マシタ。王女ヲ王様ノ申込ヲコトワツタカ
ラ、進物ダケ受取ルワケニワイカナカツタカ
ラデス。

(二) ニコニコサンノ出發

其ノ時王様ノ御殿(ゴテン)ニ一人ノ若者ガ
居リマシタ。人々ガニコニコサントヨシダ位
ニ、非常ニ快活(カイカツ)デソノ上タチフ
ルマイガ、シトヤカデアリマシタ。
ニコニコサンワ、王様ガ若シ自分ヲ使者ニ、
オツカワシニナツテイタラ、王女ヲキツトオ
ツレ申シテ來タニチガイナイ」ト申シマシタ
。スルト三人ノ家來ガ、スグニ王様ノトコロ
ニカケツケテ、「陛下(ヘイカ)、ニコニコガ若
シ自分ヲ使者ニオツカワシニナツテイタラ、
王女ヲキツトオコシニナツタニチガイナイ」
ト申シテイルノヲゴ存ジデゴザイマスカト、

口々ニ申シ上ゲマシタ。スルト王様ハオ怒リ
ニナツテ、「フラチナヤツダ、アノ若者ヲ私
ノ不幸ヲアザケルノニチガイナイ、ソノ事
ヲイツタノナラ、直ニトラエテアノ暗黒塔(ア
ンコクトウ)ニ送ルガヨイ、タトエウエ死
シテモチツトモカマワイ」トオツシヤイマシ
タ。

近衛兵(コノエヘイ)ガ早速ニコニコヲ捕エ
テ、ツメタイ暗イ、シメツボイ牢家(ロウヤ
)ニナゲコンデシマイマシタ。

カワイソウニ、ベツトノ代リニ、タダ一東ノ
ワラシカアリマセンデシタ。誰モ食物ワハコ
ンデ來テクレナイシ、タダ牢家ノ床ノ下ヲ流
レル少シバカリノ水ガアツタノデ、ソレヲノ
ンデヤツト命ヲツナグコトガ出來タノデアリ
マシタ。

或日ノ夕方、ニコニコヲ、ウエトツカレデモ
ウ弱リハテテ、ドウシテコンナ目ニアツタノ

カト、ナゲカナイデハイラレマセンデシタ。

「アア自分ワドウシテ王様ノゴキゲンヲ、

ソコナツタノダロウカ、一度ダツテ王様ノ

御意ニソムイタ事ワナイノダモノ 王様

ノ家來ノウチデ自分ホド忠義ナモノワナイ

ノニ、ドウシテコンナニ、自分ヲムゴタラ

シクスルノダラウ？」

トニコニコガ一人ゴトヲ申シマシタ。コノ時

王様ガ塔ノ近クヲオ通りニナリマシタ。一度

ワタイソウカワイガツテイタ、ニコニコサン

ダカラ、ソノ聲ヲオキキニナルト、ツイ心ガ

ヒカレテ、タチドマツテ耳ヲオカムケニナ

リマシタ。スルトカナシイ、ナゲキ聲デアツ

タカラ、可愛ソウデアルトイフオ心ガオコツ

テ、王様ノ目ヲナミダデ一バイニナリマシタ

。王様ヲスグ近衛兵ヲオヨビニナツテ、塔ノ

戸ヲアケサセ、ニコニコサンヲ外エ連れ出サ

セマシタ。ニコニコサンワ、シバラクジツト

王様ヲミツメテイマシタガ、

「陛下 私ワドウイフワケデ、コンナ罰

ヲウケルノデゴザイマセウカ」

ト力ナシゲニ申シ上ゲマシタ。

王様ワ

「オ前ワ自分ト自分ノ使者ヲアザケツタカ

ラダ。オ前ガ使者ニ行ツタラ王女ヲキツト

ツレテ來タニチガイナイトイツタラウ」トオ

イニナリマシタ。

「陛下、マツタクソノ通りニ申シマシタ。

ケレドモ私ワ王様ノオ心ノケダカサトオ情

ノ深サヲ王女ニゴランニ入レルタメニ御背

像「ゴシヨウゾウ」ヲ画カセマシタ。コノ

御背像ヲゴランニナツタラ、王女ヲキツト

「イヤ」トワオイイニナラナイダラウト思

イマシテ申シタノデゴザイマス」

王様ハコノマゴコロノアルコトバヲ、オキキ

ニナツタノデ、ヤレマア、自分ハナントイン

マチガツタ事ヲシタノダラウ。スグニ許シテ
ヤラネバナラナイトオ考エニナツテ、ソノマ
マニココサンヲ御殿ニオツレカエリニナリ
マシタ。ソシテ家來ドモニ、ニコニコサンニ
オイシイ夕ゴハンヲ出セトオ命ジニナツテ、
ソレカラシヨサイノ方エ、ニコニコサンヲオ
スシニナリマシタ。

「ニコニコヨ、今度ワゼヒオ前ニ王女ノト
コロエ使者ニ行ツテモライタイ」

ト王様ガオイニナツタノデ、ニコニコワ

「陛下、カシコマリマシタ。ヨロコビデマ
イリマス。サツソク明朝出發致シタウゴザ
イマス」

トオ答エシマシタ。

(三) 御殿ニ到着

翠朝ニコニコサンワ、王様ニオイトマゴイラ
シテ出發シマシタ。途中デワ、タダドウシタ

ヲ元ノ水ノ中ニ入レテヤルト、マツスグニ川
底エモグツテ行ツテ元氣ヲトリカエシ、又水
ノ面ニウカンデ來マシタ。

ソシテ
「ニコニコサン、オカゲデヤツト助カリマ
シタ。キツト御恩ガエシワイタシマス」

トイツテ、マタ水ノ中エモグリコンデシマイ
マシタ。
ニコニコサンワ又タビラツツケマシタ。スル
ト或日、大ワシガ鳥ヲ追ツカケテイルノヲミ
マシタ。ワシガ今ニモ捕エ様トスルトキ、ニ
ニココサンワネライヲ定メテ矢ヲ射マシタ。
矢ガヒユツト鳴ツテトシデユキ、ワシノカラ
ダヲ貫キマシタノデ、ワシワソノバニ射オト
サレマシタ。其ノ時鳥ワアブナイ命ヲ助カツ
タノデヤツト安心シテ、近クノ木ノ枝ニシツ
カトトマツテイイマシタ。

「ニコニコサン、私ノアブナイトコロヲオ

ラ王様ノオノゾミガカナウカト、ソノ事バカ
リ考エテイマシタ。宿ニツイテモドウイフ風
ニ王女ニ申シ上ケ様カト心配バカリシテ、眠
ルコトモ出來ナイ程デアリマシタ。ソシテ夜
ノマダアケキラナイウチニ出立スルコトガタ
ビタビデアリマシタ。或トキコンナグアイニ
朝早ク出カケテ、或マキバマデヤツテ來マシ
タ。ソコデ馬ヲオリテ、ヤナギトボブラノ木
ノ下ニコシヲ下シテ、王女ニ申シ上ケ様ト思
フコトバライクドモクリカエシテ見テイマシ
タ。スルト思イガケナク足モトニ、一匹ノヒ
ゴイガ、アエギナガラ今ニモ息ガキレソウニ
シテイルノヲ見ツケマシタ。

ヒゴイワ流レノ上ヲトビマワツテイル蚊ヲ
トラウト思ツテ、餘リ高クトビアガリスギテ
、ツイ草ノ上ニオチタノデアリマシタ。折ヨ
クニコニコサンニ見ツケラレタノワ、モツケ
ノ幸デシタ。ニコニコサンワシズカニヒゴイ

助ケ下サツタトワ、アナタワホントウニ親
切ナオカタデス、シカシ私ヲ恩シラズデワ
アリマセン。ユノ御恩ヲキツトオカエシイ
タシマス」

ニコニコサンワ鳥ノコトバヲ大ソウヨロコ
ビ、マタ旅ヲツツケマシタ。マモナク大キナ
モリノ中ニハイリマシタ。
スルトアワレナ鳴聲ヲキキマシタ。「マア、
マタ他ノ鳥ガ、ドコカデ困ツテイル様ダ、助
ケテヤルコトガ出來ルカシラ」トイツテアタ
リヲ見マワシマシタ。

キレイナフクロウガ鳥捕ノ網ニカカツテ、ノ
ガレ様トシテモガイテイルノヲ見ツケマシタ
。ニコニコサンワ、イキナリ馬カラトビ下リ
テ網ノ糸ヲキリマシタ。フクロウワウレシ
ウニ網ヲノガレ、マイ上ツテ羽バタキヲシ、
ソコノ木ノ枝ニトマリナガラ
「アナタノ助ケガナカツタラ、死ストコロ

デシタ。オレイノ申シ様モアリマセン。ゴ
オンワキツト報ジマス」

トイイマシタ。

ニコニコサンワ思イガケナイコトデ、時間ヲ
ツブシタカラ、イソイデ馬ニトビノツテ御用
ヲハタソウトシキリニ馬ヲトバサセマシタ。
ソシテマモナク金髪美人ノ御殿ニツキマシタ。

(四)

拜エツ

ニコニコサンガツクト、御殿デワ大ヨロコ
ビデ迎エマシタ。リリシイ顔、スツキリシタ
姿、シトヤカナ振舞、何人モ心持ヨク思ツタ
ノニ不思議ワアリマセン。衛兵タチワテイネ
イニ挨拶(アイサツ)ヲシマシタ。ソシテ一
バン近隣國ノ王様ノ使者トシテ、ニコニコサ
ンガヤツテ來テ、オ目通リヲ願ツテイルトイ
フコトガ、スグニ王女ニ取リツガレマシタ。

ニコニコサントイフ名ヲオキキニナツタ。
王女ワ

「キツト氣持ノイイ使者デ、誰モヨロコ
ンデ迎エタニ違イナカラウト思ウ」

トオツシヤイマシタ。

「全クソノ通リデゴザイマス。王女サマ」

ト女官タチワイイマシタ。

「スイヲシタ青シユスノ着物ト、新シイバ
ラノ花ノカシムリヲイソイデ持ツテオイデ
、ソシテ髪ヲヨクトイテオクレ、私ワ私ガ
ホントウニ金髪美人デアルコトヲ、ソノカ
タニシツテモライタイノデス」

ト王女ガオイイニナリマシタ。

スグニ女官タチワ仕事ニトリカカリマシタ。
ソレデモマダアキタラズ思ツタホド、熱心デ
アリマシタ。

スツカリ仕度ガ出來ルト、王女ハ黄金ノイ
スニ腰ヲ下シマシタ。女官タチワ樂器ヲトリマ

シタ。

ニコニコサンガ王女ノ御前ニ通サレルト、音
樂ガハジマリマシタ。ウツトリトスル様ナ、
ナントモイエナイ、キモチノイイ音デアリマ
シタ。ニコニコサンガオ割ニ近ツイタ時ニ一
ナントイフ美シサダラウ」ト思イマシタ。ソ
シテシトヤカニオ伺イシタオモムキヲ申シ上
ゲテ最後ニ

「ドウカ私ヲ一人デオ返シニナラナイ様ニ
オ願イイタシマス」

ト申シツエマシタ。

(五)

三ツノタメシ

其ノ一、ナクナツタユビワ

ユカシイニコニコサン、オ話ノシダイワヨ
クワカリマシタ。シカシ私ワ、オノゾミニシ
タガウコトガ出來マセン。ソレワコウイユワ
ケデス。一ヶ月バカリ前ノコトデスガ、川デ

舟遊ビヲシタイタトキ指ワヲ「私ガ自分ノ國

ヨリ大切ニ思ツテイタ、指ワヲ「ドウイフハ
ズミカ手袋ヲスイデイルトキニ、指カラスベ
ツテ川ノ中ニ落シマシタ。アマリニカナシカ
ツタノデ、私ノ結婚ノナカダチヲシヨウト
スルモノワ、マズ私ノ指ワヲ見ツケテクレネ
バ、ドンナ申シコミヲウケテモキカナイト
決心シタノデス。ト王女ガオツシヤツタノデ
、ニコニコサンワ大ソウオドロキマシタ。ケ
レドモコノコトバヤキイテ何トモ申シ上ゲ様
ガアリマセンノデ、タダテイネイニオジギヲ
シテ、王女ノヒザモトニ王様カラノ贈物デア
ル小サナ犬ト、カゴト、エリマキトヲ受ケテ

下サル様ニオ願イイタマシタ。ケレドモ王女
ガ、オキキイレニナラナカツタノデ、カナシ
ソウニ御殿ヲ下リマシタ。ニコニコサンワ
ガツカリシテシマイマシタ。ドンナゴチソウ
モ、ノドラトホリカネマシタ。腹ヲスカシテ

イル犬ノガブリオルノコトサエ忘レテシマツテ、スグニネドコニハイリマシタ。忠實ナガブリオルワ、ニコニコサンノ部屋ニシノビコソデ、主人ノソバデソノ夜ヲスゴシマシタ。時々部屋中ニヒビキ渡ル様ナ、ウナリゴエヲ心配シテ犬ワトウトウ、

「御主人サマ、ソシナニガツカリナサイマスタ、夜ガアケタラスグ川エマイラウデワゴザイマセンカ」

トイイマシタ。

ニコニコサンノ返事ワアリマセンデシタガ、犬ノ方エネガエリシテ、スヤスヤト眠ツタヲ見テ、犬ワ少シワ安心シタ様デシタ。

東ガシラムト、犬ワハネマワツテニコニコサンヲ起シマシタ。ソシテ

「御主人様御主人様、ドウカオ起キナサツテ下サイ。ゴ一ショニ出カケマセウ」

トイイマシタ。マモナク出カケマシタ。ソシ

テ川ノ方エ向ツテ進ミマシタ。流レノトコロニツクト「ニコニコサン、ニコニコサン」ト呼ブ聲ガシマシタ。

「自分ヲユメヲミテイルノデハナイノカ。タレモ自分ヲ呼ブバズワナイノダ。ドウモワカラナイ」

トニコニコサンハイイマシタ。

ソノ時一心ニ水中ヲ見ツメテイタ犬ガ

「ヒゴイガアナタヲ呼ンダノデスヨ。ヒゴイガイルジャアリマセンカ」

ト答エマシタ。スルト大キナヒゴイガ水ノ上ニ顔ヲツキ出シマシタ。ソシテ

「アナタワ私ノ命ヲオ助ケ下サイマシタ。

モシソウデナカツタラ、私ワ今ゴロドウナツテイタカリマセン。ソノ時御恩返シ

ワイタシマスト申シマシタ。ゴランナサイ、ニコニコサン。ココニ金髪美人ノ指ワガアリマスヨ。」

ウシタラヨカラウ。」

ト王女ガオツシヤツタノデ、ニコニコサンワ

「王女サマ、私ノオタノミイタシマスタツタ一ツノ事ワ、アナタガ私ノ王様ノ皇后サマニナルトイフオ約束ヲシテ下サルコトデ

ゴザイマス。」

トオ答エ申シマシタ。

其ノ二、人食鬼(ヒトクイオニ)

「アアマダンノ約束ワ、ガリフロンノコトガアルノデ出来マセン。ガリフロンワココ

カラ餘リ遠クナイトコロニ住ツテイルガ、私ト結婚シヨウトキメテイルノデス。若シ

私ガコレヲコトワツタラ、私ノ國ヲ亡スト

イツテイマス。

オ前ワコノ手カラ私ヲ救ツテケルコトガ出来マスカ。ケレドモ私ワ、マズガリフロ

ンノコトヲオ話シナケレバナリマセン。ガリフロンワ一バンタカイ塔ヨリモ、モツ

トイイマシタ。ニコニコサンワスグニカラダワカガメテ、ヒゴイノ口カラ指ワラウケトリマシタ。ソレデ忠實ナ犬ヲツレテ、マツスグニ御殿エト引キカエシマシタ。スグニ王女ノ面前ニ通サレマシタ。

「王女サマ、オイイツケワハタシマシタ。指ワラモツテ参リマシタ。」

トイツテ、王女ニサシ上ゲマシタ。

スルト王女ワ

「ニコニコサン、オ前ワマホーツカイノオ氣ニ入りニチガイナイ」

トオツシヤイマシタ。

「王女サマ、私ワマホーツカイナンカ、一人モ存ジマセン。私ワタダ王女サマノオイ

イツケヲドウシテモハタシタイトイフ心ダケシカゴザイマセン。」

「マア實ニ親切ナオ方ダ。指ワラツツネダシテ、ホントウニウレシイ。コノオ禮ヲド

ト丈ノ高イ大男デス。アノ男ニワ人間ワマ
ルデ猿ニクルミノ様ナモノデス。ガリフ
ンガ旅行ニ出カケル時ニワ、ピストルノ代
リニ小サイ砲ヲボケツトニ入レテユキ、又
大聲デ話ス時ニハ近クニイル人ワツンボニ
ナルノデス。ソレワソレワオソロシイ怪物
デス。コノ怪物ヲ退治シテ、ソノ首ヲ持ッ
テ來テ下サイ。」

「承知イタシマシタ、王女サマ。私ワキツ
トガリフロントタカイマセウ。シカシオ
話ニナツ様ナ敵デシタラ、トテモ勝ツ見込
ワゴザイマスマイ。タトエマケマシテモ、
セメテ死スマデタカイマセウ。」
トニコニコサンワ申シ上ゲテ、ゴ前ヲ引キ下
リマシタ。ソシテキケンナ仕事ノ用意ニトリ
カカリマシタ。ニコニコサンワ小サイカゴニ
忠實ナ犬ヲ入レテ、出來ルダケイソイデ、ガ
リフロンノ國エト向イマシタ。

通行ノ人々チワ、ニコニコサンガガリフロン
ニアイニ行クノダト知ツタ時、ダレモガ
「ガリフロンワオソロシイ怪物ダ。オ前サ
ンノヨウナ若者ガドウシテカテルモノカ。」
トイフノデアリマシタ。
ケレドモ忠實ナ犬ワ、小サイナガラ勇マシイ
ミカタデアリマシタ。

「大丈夫デス、ゴ主人様。バンジウマクイ
キソウデス。アナタガ怪物ニウツテカカル
トキ、私ワ足ニカミツキマセウ。スルト怪
物ワ私ヲ追イハラオウト、体ヲカガメルニ
チガイアリマセン。ソレガイイオリデス。
其ノ時ニスバヤク首ヲ切り落シナサイ、キ
ツトカテマス。」

ト忠實ナ犬ガイイマシタ。
ダンダンイソイデイクウチニ、ソコニモココ
ニモ怪物ノアラシマワツタノトガアル様ニナ
ツタノデ、怪物ノ城ガマ近クナツタニチガイ

ナイコトヲ知リマシタ。

進ンデイケバイク程、澤山ナ人ガアワレナ
殺サレ方ヲシテイルノガ目ニツイテ來マシタ
。イキナリオソロシイ、ヒビキガキコエテ來
マシタ。スルト森ノ中カラ怪物ガアラワレマ
シタ。頭ワ一番高イ木ヨリモツキ出テイテ、
ソノ手ニワ大キナ鐵ノ棒ヲ持ツテイマシタ。
怪物ワ体ヲユリウゴカシナガラヤツテ來マシ
タ。ニコニコサンワ、サツキアレホドビツク
リサセタヒビキワ、コノ人食鬼ノ歌デアツタ
ニチガイナイト思イマシタ。ソコデ自分モマ
タ歌イハジメマシタ。

ガリフロンワ非常ニオドロイテ、アタリヲ見
マワシマシタ。
スルト若者ガケンヲモツテ自分ノ方エツキ進
ンデ來ルノヲ見ツケマシタ。青二歳ノクセニ
自分ニウツテカカロウトスルノヲ見テ、怪物
ワ自分デ自分ヲオサエル事ノ出來ナイ位非常

ニ怒リマシタ。

人食鬼ワ一打チニコノコシヤクナ若者ヲウ
チノメソウト思ツテ、大キナ棒ヲ一層シツカ
リツカンドフリマワシマシタ。丁度ソノトキ
一羽ノ鳥ガ怪物ノ頭ニトマツテ、其ノ目玉ヲ
ツツキマシタノデ、ニコニコサンワヤツトコ
ノアブナイトコロカラノガレマシタ。
目ワ見エナクナルシ、血ヲ顔一面ニ流レ落チ
ルシ、怪物ワドウスル事モ出來マセンデシタ
。其ノ間ニコニコサンワ、劔ヲツカモ通レ
トバカリニ怪物ノ体ニツキサシマシタ。
怪物ワトウトウ死ンデ地上ニ倒レマシタ。

其ノ首ワスグニコノ勝チホコツタ、ニコニコ
サンニ切り落サレマシタ。ソノ時
「ワタシヲ追ツカケテイタワシヲ、アナタ
ガ退治テ下サタコトヲ忘レマセンデシタ。
アノ時私ワキツト御恩返シヲスルトオ約
束シマシタ。ヤット今日ソレヲハタシマ

シタ。

ト鳥ガイイマシタ。

ニコニコサンワ見テモツツトスル人食鬼ノ首ヲ鞍ニツケルト、馬ニトビノツテイソイデヒ女ノ御殿エカエツテ來マシタ。ソシテ

「王女サマ、アナタノ敵ワ死ンデシマイマシタ。ドウカモウ私ノ王様ノ望ミヲオコトワリニナナイ様ニオ頼ミイタシマス。」ト申シ上ゲマシタ。

其ノ三、美顔水（ビガンスイ）

「ガリフロンガ死ンダトイフコトワ、ホントウニヨイシラセデス。ケレドモ今スグニオ頼ミニシタガイカネル、モ一ツノ事ガアリマス。ソレワコウナノデス。私ワビガン水ガイルノデス。トコロガソレハ暗イ岩屋（イワヤ）カラデナイト得ラレマセン。ソレヲ取ツテ來テ下サツタラ、今度ワキツトオ頼ミヲキキマセウ。シカシコノ仕事ワ大變

ニ危険ナコトト思イマス。ソノ岩屋ワ地下ニ七八里モ廣ガツテイルホラ穴デアツテ、ソノ入口ワココカラ遠クハナレテイナイケレドモ、二匹ノオソロシイ龍ガ守ツテイマス。ソコヲウマク通りコシテモ、モ一ツ大

キナ危険ガ待ツテイイルノデス。右ノ足モトニ當ルトコロニ、暗イ穴ガアツテ、ソノ中ニヒキガエルヤ、マムシヤ、大キナエビナドガムラガツテイマス。ソコヲ通りコサナクテワナリマセン。

シカシ、シリゴミシテワナリマセン。ソレ等ノトコロヲ通りスケテ、向フノ小サナホラ穴ニイクノデス。ソノホラ穴ノ中ニ美顔水ガ流レテイイル泉（イズミ）ガアリマス。」

ト王女ワオツシヤツテ、小サナガラス瓶ヲニコニコサンニ渡シナガラ、話ヲオツズケニナリマシタ。
「今私ガコノ世界ノ中デ一番ホシイト思ッ

テイイルノワ、コノ瓶ニマホウノ水ヲ入レテモラウコトナノデス。」

ニコニコサンワコンドモ忠實ナ犬ヲツレテ、スグニ暗イ岩屋エトイソギマシタ。ヤツテイイクウチニ、一ツノケワシイ山ニフツツカツタノデ、ダンダン上ツテイツテ、山ノ上近クニ來タトキ、シバラク休マウト思ツテ腰ヲオロシマシタ。ガブリオルガ元氣ヨクトビマワツテイイルウチニ、馬ニ草ヲクワセナガラアタリヲ見マワシマシタ。

「キツト岩屋ワ遠クワナカラウ。マア、アレワホントウニ何ダラウ。」

トイツテ、前ニナガクツキ出テイイルモノヲ岩ダト思ツテカケノボリマシタ。トコロガソノ岩ラシイモノワ、スミノ様ニマツ黒ナ色デ、ナオコイイケムリヲハキ出シ、ソノ煙ヲ空デ雲ノヨウニウズマイテイマシタ。
スグニコレワ岩屋デナク、オソロシイ龍デア

ツテ、ソノ口カラホノオヲハキ出シテイイルコトヲ知リマシタ。」

忠實ナ犬ヲツレテ、ケンヲシツカトニギツテ入口ニ近ズキマシタ。

ニコニコサンワ「通りスケルカ、死スカドツチカダ」トイイマシタ。

丁度穴ニハいらウトシタ時

「ニコニコサン、ニコニコサン」

トヨブ聲ガシマシタ。

「ヨンデイルノハ誰レダ。」

トニコニコサンガサケンデ頭ヲフリムケルト

、一羽ノフクロウガ老木ニトマツテイマシタ

「アナタワ私ノ命ヲ助ケテ下サイマシタ。私ワ御恩ガエシヲスル約束ヲシマシタ。今ガソノ時デス。其ノ瓶ヲオ渡シ下サイ。私ガイツテ美顔水ヲモツテ來マセウ。」

トフクロウガイイマシタ。

危険ナ穴ニハイラナクテモイヨウニナツタ
ノデ、ニコニコサンワタダ厚クオ禮ヲイッテ
、瓶ヲフクロウニ渡シマシタ。
一二分モタツタカト思ウト、フクロウワカエ
ツテ來マシタ。
ニコニコサンフクロウノ口カラ、寶ノ瓶ヲ
受ケ取ツテ、イソイソト歸ツテ來テ、大ヨロ
コビデ王女サマニソノ瓶ヲ差上ゲマシタ。

(六) 花嫁 (ハナヨメ) ヲ迎エテ

「今私ワドウシタライイダラウ。三度モコ
ノ勇マシイ人ガ私ノイッタコトヲ果シテク
レタノデス。コノ上タノミヲキキ入レナイ
ノワ道ニソムイテイル。」
ト王女ヲオ考エニナリマシタ。
ソコデイヨイヨニコニコサンノ頼ミヲオキキ
入レニナツテ、旅立ノ用意ヲサレマシタ。
アル晴レワタツタ朝イヨイヨ出立シマシタ。

非常ニヨロコンダニコニコサンワ、ドウシタ
ラ途上タイクツサレナイ様ニ、王女ヲオナグ
サメスルコトガ出來ルダラウカト、ソレバカ
リ心配シマシタ。
イクラカ王女サマヲオナグサメスルコトガ出
來ルダラウト思ツテ、コンドフシギナ成功ヲ
シタワケヲ申シ上ゲマシタ。王女ワ大ソウ面
白ガラレマシタ。
ソシテフクロウガ網ニカカツテイタ場所ワド
コカトオタズネニナリマシタ。
ソレカラ少シイッテ、ニコニコサンワ——變
ナイイ方デアルガ——木ニトマツテナイテイ
ル古イ友ノ鳥ヲモ、オ引キ合セシタノデシタ
ガ、一番王女ガオヨロコビニナツタノワ、イ
カニモシタシミブカイヒゴイノ姿デアリマシ
タ。王女ワ今ハジメテニコニコサンガビツク
リスル程早く指ヲ見ツケタワケヲ、オワカ
リニナリマシタ。

イヨイヨ都ニ近ズイタガ王様ヲ金髪美人ガ自
分ノタノミヲキキ入レテ、ホントウニヤツテ
來ラレタ事ヲシツテ、サカンナ行列デオ迎エ
シタノデアリマシタ。

(オワリ)

寓話 若者ト「カムゾ」

マルキヨク公學校 イワサキ

昔々、ナマケナ若者ガイマシタ。毎日々々
ブラブラト遊ンデバカリイマシタノデ、着物
モ、タニ物モナクテ、大ヘン困リヌイデイマ
シタ。

「永イ永イ間、肉ヲ食ワナイナ。肉ガホシイ。
アア、ホシイ。本當ニホシイ。肉ガナケレバ、
魚デモヨイ。ソレモナケレバ、パンノ實一ツ
デモ、テテージャス一枚デモ、半片デモヨイ。」
ト、イッテ居マスガ、シカシ、自分デ働イ
テトロウトロシマセン。

「モウ、ベコベコダ。コウ腹ガヘツテワ仕
方ガナイ。ソコラ迄出カケテ見ヨウ。」
ト、若者ワ不精々々、出カケルコトニシマシ
タ。

隣ノ家ヲソットノゾイテ見マスト、タニ物
モナイガ、誰モ居リマセン。此ノ家デハ、ア

サ早クカラ、ベントウヲ持ツテ、カヅク中デ
畑ニ出カケタノデス。タダ、マドギワニ、牛
ヲツナグロツブガ、一スジオイテアルバカリ
デシタ。若者ワ、

「此ノロツブデモ、五十錢ニワナルゾ。」
ト、イツテ、腰ニサゲマシタ。

今度ワ、向ウノ家ニ行キマスト、ココモ留
守デ、ダイドコロニ椰子ノ實ヲ小サクスル、
カムゾ」トユウ物ガ、一ツオイテアリマシタ

「ウン、コレヲヨイ物ガアツタ。コレナラ
二、三圓ニワ賣レル。」

若者ワヨロコソデ、ソレヲ肩ニカツイデ、
其ノ又隣ノ家ニ行キマシタ。

見ルト、丸々ト太ツタ豚ガ一頭、留守番ヲ
シテイマス。

「モウ、腹ガヘツテ、ドウニモガマンガ出
来ナイ。此ノ豚ヲ殺シテ食ベヨウ。」

ト、若者ガイイマスト、豚ハ、ビツクリシ
テ、

「モシモシ、私ヲ食ベルンデスツテ。ソレ
ダケワ、何卒許シテ下サイ。私ワ今、オナカ
ニ、子供ガハイツテイマスカラ。」

ト、大キナオナカラ指シテ、手ヲ合センバ
カリニシテ、タノミマシタ。ケレドモ若者ワ
キカナイデ、今ニモ殺ソウトシマス。豚ワ涙
ヲ流シテイマシタガ、トツセン、牙ヲムキ出
シテ、若者ニツツカカツテ来マシタ。若者ワ
豚ノハゲシイ勢ニ、ビツクリシテ、逃ゲ出
シマシタ。

所ガ、腰ニサゲテイタロツブガ、足ニカラ
ンデ、タオレテシマイマシタ。タオレタ拍子
ニ、肩ニカツイデイタカムゾデ、ヨコ腹ヲツ
キサシテ、若者ワ死ンシマイマシタ。
(オワリ)

●サイバン島ノコト

サイバン島ガ日本領ニナツテカラ今日マデ
、オヨソ十五年ニナリマシタ。センリヨウシ
タ日ハ大正三年十月十四日デゴザイマス。
ソノトキニハ、オウシウセンソウノタメニ
、クルシイセイカツニセメラレテコマツテイ
タトコロ、十二月ニ暴風ガフイテ、私タチノ
家ヲタオレ、畑ワアラサレテ、オオナオコマ
リマシタ。ソレバカリデナク、カイガラ虫（
アスピデトウス、デステルクトル）ガ椰子ニ
ツイテ、サカンニアラシマスノデ、島民ノコ
マリ方ハ一通リデナカツタノデス。

ワガ南洋ニ出来ル椰子ハ、私タチノ島ノタ
カラデス。島ニハ色々ナ植物ガ出来マスガ、
一バン大切ナ植物ハ此ノ椰子デゴザイマス。
此ノ椰子ノ木ニ出来ル實ハ、小賣ニシマス
ト、タイテイ一個五錢ニモナリマス。又コブ

ラニスレバ一キロ十七錢五厘ニモナリマス。
今デハネゲンガサガツテ十二錢位ニナツテオ
リマスガ、.....大正元年アタリ
ノコロハ、カイガラ虫ガナクテ、椰子ハズイ
ブントレマシタガ、虫ガツイテカラ、スコシ
モトレナクナツテシマツタノデス。

此虫ハモトヤツブ島ニイタソウデスガ、時
ノドイッ海軍隊長ジョウジ、フオン、ハイニ
ツチ氏ノユダンデ、トウトウサイバン島ニア
ゲテシマツタノデス。

ソレデスカラサイバン島ニアル椰子ニツイ
テ、ハツバガキイロニナツテ、ダンダントカ
レテオチマシタ。ソレガ二三ヶ月ノ間ニ、サ
イバンゼンタイニヒロガリマシタカラ、ミン
ナノモノゴマリマシタ。カイガラ虫ノタメ
、オウシユウセンソウノタメ、又暴風ノタメ
ニ、ワガサイバン島ノセイカツハ、大ソウク
ルシクナツタノデゴザイマス。

此ノ椰子ヲ、一番金ニナルシ、又ジブンタ
チノ食物ニナルノデスカラ、皆ノ者ガイツシ
ヨウケンメイニ、ウエナクテハイケナイト思
イマス。大正十五年カラ昭和三年マデハ、コ
ブララトレバ一キロ十七錢五厘ニナツテイタ
ノデス、トモヨイオ金デハアリマセンカ。
先生モ生徒タチヲススメテ、ナルベクジブ
ンタチノ父ノ畑ハ、ジブンタチデ此ノ南洋ノ
タカラモノデアル椰子ヲウエルヨウニシテホ
シイト思イマス。椰子ヲウエテモ、スグニハ
トレマセンガ、トレルヨウニナルト、大ヘン
ベンリナモノデアリマス。
ウエテカラトレルマデハ五年モカカリマス
ガ、此ノ植物ハホカノ植物トチガツテ、テイ
レガスクナイノデス。椰子ハ十メートルオキ
ニウエルノデスガ、ソノ間作ニジブンタチノ
食物ニナルトウモロコシヤ、バナナ、イモ、
ソノ他ノ植物ガウエラレマスカラ、ソノ間ニ

テイラスレバヨイモノデス。
今サイパン島デハ一年ニ百トングライトレ
マスガ、マダ昔トクラベテ五分ノ一シカトレ
ナイノデス。虫ニヤラレテイナイトキハ、六
百トンヤ七百トンハ、ヘイキデトレテイマシ
タ。サイパン島ハ面積ワヅカ十二平方里シカ
ナイ島デスカラ、コレクライノコブラガトレ
レバ、ナントイフケツコウナコトデアリマ
センカ。シカシミンナガ、イツシヨウケンメ
イニウエレバ、マダマダコレイジヨウトルコ
トガ出来マスカラ、ジブンタチノモツテイ
土地ヲアツバサナイデ、イツシヨウケンメイ
ニウエナクテハイケナイト思イマス。
サイパンハ今内地人ヤ、オキナワ人ヤ、チヨ
ウセン人ガタクサンオリマスガ、コノ小サナ
島ニコンナ二人ガタクサンオルト、シマイニ
ハクイモノニモコマルダロウト思イマスカラ
、今ノウチニ椰子ヲイツシヨウケンメイウエ

テ、アトカラ來ルキヨウダイタチヲ、コマラ
セナイヨウニシナケレバナリマセン。
大正七、八年コロマデハ、マダ島民タチハ
クルシイセイカツヲフンデイタノデス。ソノ
時ニハ仕事ヲシテモ、タベルグライモ、マニ
アワナイデ、父母タチハ食物ガナクテ、子供
ヲ學校エ上ゲルコトガ出来ナイクライデアリ
マシタ。
コノクルシイセイカツヲ見タ、日本ノ海軍
隊長ハ、島民ガカワイソウデアアルカラ、内地
カラ會社ヲヨシデ島民ニモ金ヲモウケサセル
ヨウニシナケレバナラントインノデ、大正八
年ニ南洋植産株式會社ガサイパン島ニ來タノ
デアリマス。ソノホカニ又西村製糖株式會社
ガ來テ、リヨウホウカラサトウヲウケルコト
ニナリマシタ。ソレデ島民モサトウヲウエタ
リ、會社ノ仕事ヲシタリシテ、オ金ヲモウケ
ルコトガ出来ルヨウニナツタノデアリマス。

ザンネンナコトニ此會社ハ長クツツカナカツ
タノデ、ソノアトニ南洋興發株式會社ガ來
テ、ヅウト今日マデヤツテイノデアリマス
。日本領ニナツタオカゲデ、此ノサイパン島ハ
タスカツタノデアリマス。
人間ハ世ノ中ニ生キテオルウチハ、イツシヨ
ウケンメイニハタラカナケレバナリマセン。
トウモロコシヤ、バナナ、イモ、ソノホカノ
食物ヲウエタリ、牛、ブタ、ニハトリヲカツ
タリスレバ、金ニコマルヨウナコトハナイト
思イマス。商賣トカ、シホンキンノイルヨウ
ナ仕事ハ、ナカナカムツカシイカラ、ワレワ
レ島民ニハ出来ナイト思イマス。ナゼカトイ
フニ、ベンキヨウガタラナイカラデアリマス
。デスカラサツキハナシタトウリ、ヒヤクシ
ヨウラスレバヨイノデアリマス。
ヒヤクシヨウハ、コノ小サナ島デモジウブン

ナ仕事デアリマス。ミナサンモドンドンジブ
ンノ畑ニ食物ヲ椰子ヲウエテクダサイ。

ハジメハクロウデアツテモ、毎日ハタライ
テオレバ、アトハコウフウニナルコトガ出来
マスカラ、安心シテイツシヨウケンメイニハ
タライテクダサイ。

(終リ)

●コトリトネズミ
サイパン公學校補二

ベードロ、メンデオラ

ロタノ島ニ昔オジイサントオバアサンガア
リマシタ。二人ワ畑デスイカラタベテカワラ
ステマシタ。ソノウチニコトリトネズミガヤ
ツテキテ、ソノスイカノカワヲカイガンマデ
ハコンデキマシタ。二人ワスイカノカワヲ船
ニシテ、アノ向フノ島ニ行キタイトソウダン
ヲシマシタ。トコロガダン沖ノ方ニスス
ミマスト、ネズミワハラガヘツテ、ソノスイ
カラタベマシタ。コトリワコレヲ見テ、オイ
君、タベルナタベルナ、モシソナニタベテ
コノスイカノカワノ船ガシヅンダラ、僕ワト
ベルガオマエワシヅンデ死ナナケレバナラナ
イト申シマシタ。シカシネズミワソレヲキカ
ナイデ、ヤハリタベテイマス。シバラクスル
ト、スイカノカワノ船ワダンダンシヅミマス

。コトリワトンデ行コウトスルト、
ネズミワ

「コトリサン、アナタノシツボト僕ノシツ
ボヲツナイデトンデイツテクダサイ、ドウ
ゾオネガイイタシマス。」ト申シマス。

コトリワナカナカキキマセン
「人ノオシエワキカナイモノワ、シンデモ
ヨイ。」ト申シテ、小鳥ワ一人トンデユキマ
シタ。

(オワリ)



説明 ターゲット

この原本は
一部文書が
糊付けされています

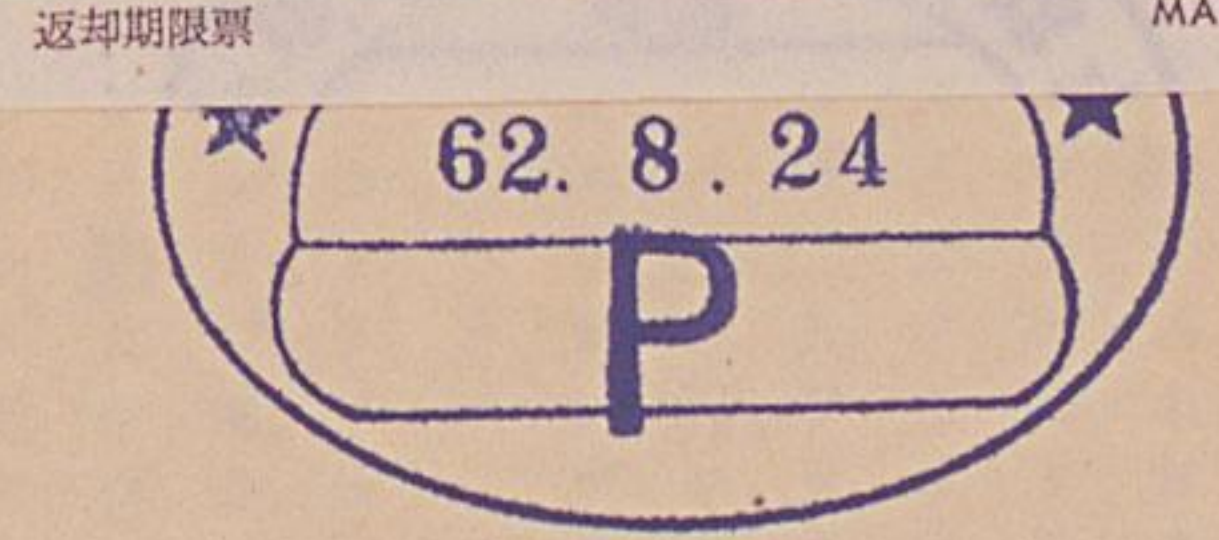
昭和六年三月十日印刷
昭和六年三月十五日發行

(日の光第九號奥附)
(非賣品)

南洋廳内
財恩賜
獎學會
代表者
松田一海
南洋群島パラオ島
藤田虎吉
印刷者
南洋廳
財務課
印刷所

返却期限票

- 最後にある日付があなたの返却期限です。
- 遅れないように期限内に返却しましょう。
- 続いて借りたいときは届け出てください。

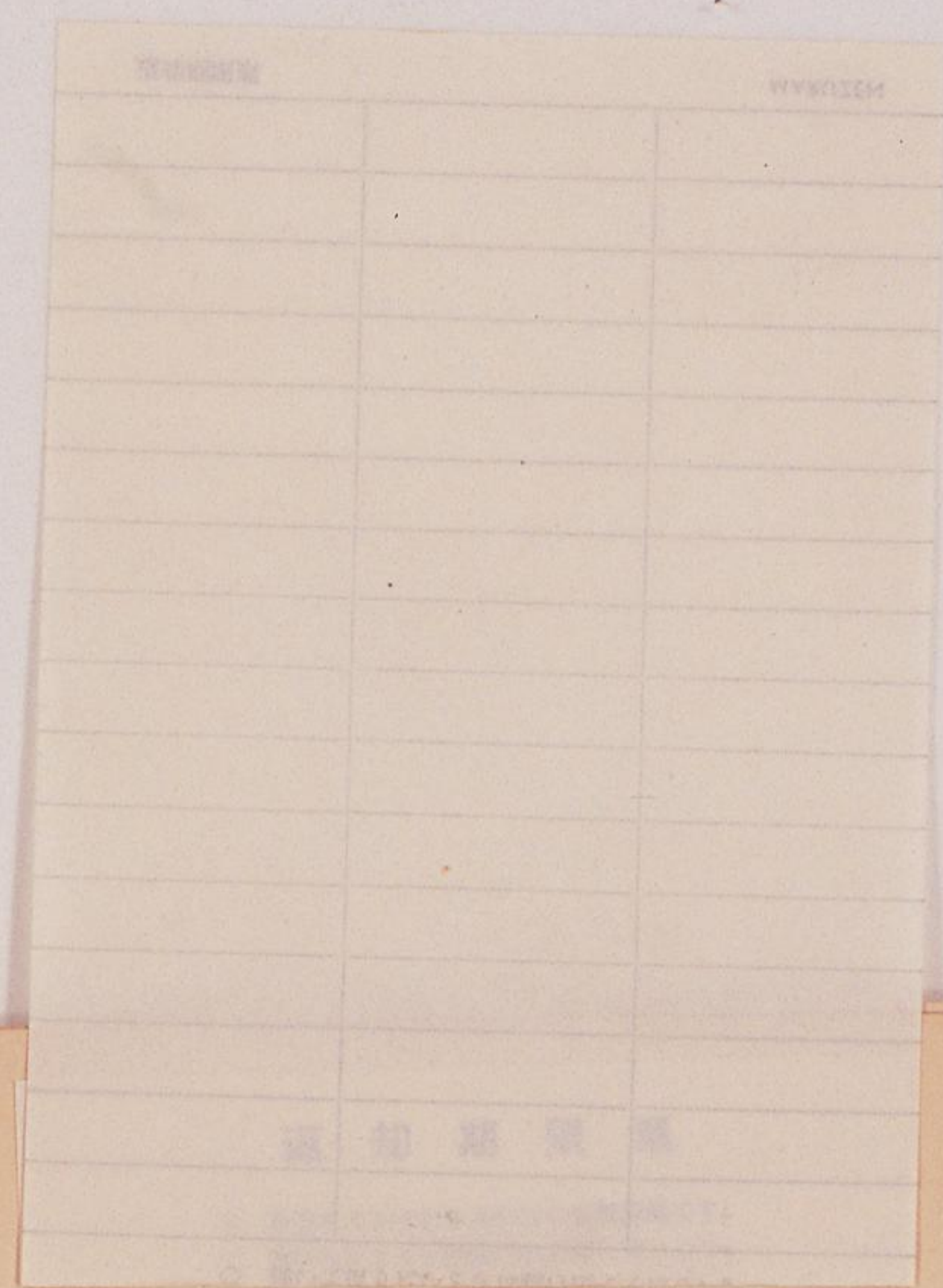


0000870081100

処理済

説明 ターゲット

この原本は
一部文書が
糊付けされています



昭和六年三月十日印刷
昭和六年三月十五日發行

(日の光第九號與附)
(非賣品)

南洋廳内
編輯者 財團 獎學會
代表者 松田一海
南洋群島パラオ島
印刷者 藤田虎吉
印刷所 南洋廳財務課



0000870081100

処理済

